

若槻公民館指定管理者制度スタート(4月1日)

27年度当初から若槻公民館指定管理者推進委員会を中心に準備を進めてきたところですが、4月1日から「コミわか」が指定管理者として、若槻公民館を運営していくこととなります。

この事業開始にあたって、コミュニティセンター玄関前で記念のセレモニーが開催されました。三登山太鼓の記念演奏、新制度の公民館長に就く傳田典順の決意表明、職員の紹介など短時間ですが、住民の手で運営される地域密着型公民館として大きな期待が持てる船出となりました。

なお、市内では長沼、信更、芋井、篠ノ井に次いで、今年度は更北も若槻と同じく指定管理を開始し、6館となりました。次年度は吉田、川中島、安茂里等が申請するとの情報もあります。

今年度は新しい企画の講座も予定しており、地区の方々から、やってよかったですねと言われる公民館づくりにまい進します。



～連載～ 「若槻自然遺産」の紹介

(其の6) 桜のトンネルと昇竜桜

～昭和の森公園西の坂とグリーンベルトの桜並木～

◎桜のトンネル…昭和の森公園西の桜並木：39本

この連載の第2回(10月号)でお話しました昭和の森公園西の坂には東側の公園のへりに沿って22本、西側の住宅地に沿って17本のソメイヨシノが例年4月中旬に満開を迎えると春霞を盛り上げたような花をつけた枝々が左右から道路にせり出し僅かに一筋の青空を残して見事な花のトンネルが出現します。

市長長野高校前のT字路から北へ急なカーブを昇り切る手前からうす紅のトンネルが始まります。

若槻台から下るときにはあたかも桜の花のタイムトンネルに飛び込むかのような幻想的な一瞬を味わうことが出来ます。

若槻史(昭和37年12月発行)の自然編3生物 第5節「保存したい植物」で次のように取り上げています。

「若槻台運動公園西の桜並木。

南へ下り坂の市道沿いの並木、数十本植えられている。開花時は実に見事で多くの人の集うところである。太さは目通り1.5m前後、高さは5mくらいである」と称賛し、保存の必要性和後世への伝承を呼びかけています。

この並木がいつ植えられたかは確認していませんが、若槻史掲載の写真から推測すると、今現在すでに70年を超えていると判断されます。

ソメイヨシノの寿命は約70年と言われています。並木の桜を一本一本観察するとほとんどの木が病気を持っています。カビやきのこなども付き始めています。

この並木の景観を守るためにできるだけ早く世代交代の用意をする必要があります。公園には噴水広場の周りや駐車場の中にも見事に花を咲かせる桜が多く植えられています。長野市内の隠れたお花見スポットとして年々訪れる人が増えています。若槻地区の宝として公園内の桜と景観と共に守っていききたいものです。

◎昇竜桜…グリーンベルトの桜並木：46本

上野3丁目の上野団地バス停辺りから北へ約300メー



桜のトンネル 昭和の森公園西の坂の桜並

トルに及ぶグリーンベルトは4月中旬になると土京川に臨む崖上まで、紅の竜がその巨体をのたうちながら駆け上がっているように見え、その迫力に圧倒されます。

グリーンベルトは昭和48年の竣工から6年かけて完成した上野団地(農村モデル住宅団地：農住団地)の造成時に造られた緑地帯です。南北約300メートル、送電線鉄塔の下の安全地帯(緩衝帯)として電線に沿って造作されたものと聞いています。団地完成時にこの緩衝帯に約50本のソメイヨシノが植栽された様です。

現在は46本が花を咲かせ、地域の人々の目を楽しませています。見落とされがちですが秋には目にも鮮やかな錦秋色に染まります。

尚、グリーンベルトの桜の周りには地元のグリーンベルト愛護会が花を植え、草とりなどをして桜と花壇の保護保全に努めていることも忘れてはなりません。



昇竜桜
上野団地のグリーンベルトの桜並木